

「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」を進めています

伝えたいのは ●●●● “乳幼児期を大切に!”

都市化、核家族化、少子化、地縁関係の希薄化などを背景として、子供の基本的な生活習慣の乱れや対人関係の希薄化、親の孤立化や子育て文化の未継承の問題などが生じ、子育てに自信がない親・教育に関心の薄い親などが現れてきています。

教育・福祉行政では様々な家庭教育支援・子育て支援施策を展開しています。しかし、子育て層の約8割が「子育てへの地域や社会の支援が不十分」と感じているという調査報告があり、地域や個人の実状を踏まえ、きめ細やかな支援は不十分であると言えます。

一方で、近年の医学・脳科学等の研究により人としての基礎が築かれる乳幼児期の発達的重要性が指摘されています。

これらの状況を踏まえ、平成19年12月に第7期東京都生涯学習審議会から「乳幼児期からの子供の発達を地域で支えるための教育環境づくりの在り方について」の答申が出され、都教育委員会では、乳幼児期の子供を持つ親・保護者への家庭教育支援施策として平成20年度から「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」の取組を開始しています。

このプロジェクトの施策の柱と、現在進めている事業を紹介します。

施策の柱1 ● 乳幼児期からの子供の教育の重要性についてすべての保護者に伝えるために

○乳幼児を育てている保護者向けの資料の配布

『乳幼児期を大切に ～心と体の基礎を育てるとき』を作成しました

プロジェクトでは、平成21年3月に、日頃から乳幼児とその保護者に関わっている職員や指導者の方が子供の発達の科学的知見と保護者の学習支援について学ぶための指導者向け資料(※1)を作成しましたが、このたび、これをベースにして、新たに保護者向け資料「乳幼児期を大切に ～心と体の基礎を育てるとき」を作成しました。

近年、医学や脳科学等の研究により、人としての基礎が培われる乳幼児期に心と体の基礎 ～樹木で言うと「根っこ」や「幹」に当たる部分～ がしっかり育つことが重要であることが明らかになってきました。この保護者向け資料では、心と体の基礎をしっかりと育てるために大切なことを絵や図を使ってわかりやすく説明しています。特に大切なポイントについては、「教えて、先生!」コーナーで小児科医や研究者など専門の先生からのアドバイスや解説をつけました。また、巻末にはオリジナルキャラクターの指人形やすごろくもついています。

この資料は、主に区市町村の保健所や保健センターなど母子保健を担当する部署から、母子健康手帳と同時に配布したり、新生児や乳幼児の家庭訪問の際に手渡したりと、いろいろな機会を通して都内の0歳児の保護者にお配りします(配布方法は自治体によって異なります)。

平成21年度は、0歳児に加え、1歳6か月と3歳児の健康診査の機会などを活用して配ります。

さらに、この資料を読んでいただくために、まずは気軽に手にとってもらえる「ダイジェスト版」も同時に配布します。

子供たちの心と体の基礎をしっかりと築くために、一人でも多くの保護者の皆さんに読んでいただきたいと思います。

※1 指導者向け資料「乳幼児期を大切に ～子供の発達の科学的知見と親の学習支援」(平成21年3月発行)は、オリジナルウェブサイト「資料のページ」で全ページを御覧いただけます(PDFファイル)。この資料の執筆による研修の様子はP4で紹介しています。

○オリジナルウェブサイトの開設

若い保護者の身近な情報入手の手段であるインターネット上でも、家庭での教育に関する情報を提供しています。

こちらでは、過去に作成した啓発資料なども御覧いただけます。

「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」オリジナルウェブサイト

<http://www.nyuyoji-kyoiku-tokyo.jp/>



〈主な内容〉

- ・心と体の基礎は脳にある! 脳と心のメカニズム
- ・まずは早起き・早寝! 夜の光は危険です
- ・「食べること」で育てる
- ・「動くこと」の基礎を育てる
- ・遊びが子供を育てる
- ・五感に受ける刺激が子供を育てる
- ・ふれあって親子の絆を
- ・乳幼児に絵本の読み聞かせを
- ・親子で遊ぼう! 工作のページ/すくすく★すごろく

〈教えて、先生!〉～専門家からのアドバイス

- ・心を穏やかに育てるために、乳幼児期はどんなことに気をつけなければならない?
- ・夜更かしや睡眠不足にはどんな危険があるの?
- ・遅く寝た次の日にゆっくり寝かせておいてはいけないの?
- ・絵本の読み聞かせは、何を育てるの?
- ・どうすれば「基本的な動き」が身につく?
- ・体を動かさず遊びで、運動以外にどんなことを学んでいるの?